

# 農繁期 レポート

令和3年 8月号

## エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	20.1アール
保証量	玄米 905kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



## 生産者 高橋 秀紀さん

日南町も暑かった夏でしたが、今年はお盆の豪雨で朝夕涼しさを感じるようになってきました。梅雨明け後はほとんど雨が降らず、川の水も少なくなり水管理には苦勞しましたが、無事に稲穂も出揃いました。しかしその後、長雨が続き心配の種は尽きません。今後は台風がやってくる季節になりますが、景色は緑から黄金色へと変わっていきます。コスモスの花もちらほら咲き始めました。いよいよ収穫の秋です。

### 8月の作業内容

#### 1.カメムシ防除

穂がでた出穂期にカメムシは田んぼに飛んできます。防除は全体の7-8割が出穂した時と出穂後10日頃の最低2回行います。靱が水分状態のときにカメムシは針を刺して汁を吸ってしまい、吸われるとお米に黒く斑点ができてしまいます。



#### 2.光合成と生育状況チェック

出穂後の晴天は重要で開花後、光合成によりデンプンを生産しお米になります。昼間作ったデンプンを夜稲に送り込むのですが、夜間の気温が高いとデンプンを消費するため、夜間の気温が低い方が美味しいお米ができると言われています。



#### 3.機械点検

9月から稲刈りが始まります。その前に使用する機械の点検を8月中に行います。コンバイン、籾摺り機、乾燥機など、多種ありきちんと作動しないと全ての業務が止まってしまいます。入念に行い、来る稲刈りに備えます。



#### 稲の花

稲の花はなかなか見ることができません。大体11時~13時頃の2時間程度に見せてくれます。花びらはなく、中から6本のおしべが出て、めしべに付いた花粉と受精すると閉じてしまい、もう開くことはないのもとても貴重です。

